

会議名 (審議会等名)	平成24年度 第2回 川西市健康づくり推進協議会		
事務局 (担当課)	健康福祉部健康づくり室 内線(4530)		
開催日時	平成24年11月15日(木)午後1時30分~午後3時00分		
開催場所	川西市医師会 医療会館		
出席者	委員 (敬称略)	竹本 博行 藤末 洋 前田 祐一 今西 要 三宅 圭一 井上 克己 中村 多哉美 森本 猛史 福西 勝 鈴木 光義 日下 厚子 和島 一吉 益満 良一 根津 倫哉	
	その他		
	事務局	健康福祉部健康づくり室 山中室長・池田主幹・清瀧主幹・柳川副主幹・松本主査 米田主任・北田主任・武田事務員	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	別添「審議経過」のとおり		
会議結果	別添「審議経過」のとおり		

審 議 経 過

第2回 川西市健康づくり推進協議会 審議経過（要旨）

平成24年11月15日

午後1時30分～3時00分

川西市医師会 医療会館

出席者：14名（欠席者：6名）

[会議次第]

- 1 協議事項
（仮称）川西市保健医療計画（案）について
- 2 その他
- 3 閉会

発言者	発言要旨
事務局	<p>議事 【 1 . 開会】 定刻になりましたので、ただ今より平成24年度第2回の川西市健康づくり推進協議会をはじめさせていただきます。中川副会長・藤木委員・松本委員・中江委員・野中委員・水田委員からは、事前に欠席の連絡をいただいております。 半数以上の委員の皆様にご出席いただいております。本日の会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。本日の会議につきましては公開となっておりますので、合わせてよろしくお願いたします。お手元の資料のうち、川西市健康づくり推進協議会委員名簿に訂正があります。区分のところで、医療関係団体代表者の三宅委員の所属する団体等の欄の中で、川西市薬剤師会副会長となっておりますが、誤りがありまして、川西市薬剤師会会長が正しくなっております。お詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。 では、はじめに本年7月19日の本推進協議会開催後、委員の変更がございましたので、ご報告させていただきます。委員名簿の関係行政機関の職員の区分において、兵庫県伊丹健康福祉事務所から委員の選出の見直しに伴い、橋本公男委員から松本圭司委員に、川西市市議会の役員選出に伴い、大崎淳正委員から鈴木光義委員に変更されています。では、新たな委員である鈴木委員から自己紹介をお願いします。</p>
鈴木委員	<p>みなさんこんにちは。 大崎委員から変わりました鈴木でございます。健康という大事な分野の委員ということで、しっかりと勉強し、推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 任期は前任者の残任期間ということで、平成25年9月29日までとなります。今後とも本推進協議会の委員として、それぞれの専門的なお立場からのご意見を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。 では、本推進協議会の委員でもあります根津健康福祉部長から、会議開催前の事務局からのお願い事項について説明をさせていただきます。</p>
委員	<p>みなさん、こんにちは。 本日はお忙しい中、本健康推進協議会にご出席をいただきましてありがとうございます。会議に議事に先立ちまして、本日お配りしました川西市健康づくり計画素案について、若干説明させていただきます。 本年7月に開催しました前回の会議を受けまして、今後5年間の川西市健康づくりに関する事業展開の検討を行うと共に、現在市全体で策定作業をしている川西市総合計画との整合も図りながら、健康づくり計画の素案として取りまとめ、本日お手元にお配りさせていただいております。この素案の内容については、後ほど議事の進行に合わせて、事務局より詳細に説明させていただきます。この計画書素案の策定にあたりましては、昨年度実施した市民の方を対象としたアンケート調査の結果、および健康づくり室職員が日常の業務に当たる中での気づきをもとに、健康づくり室職員によって議論が積み重ねられています。実際に素案として取りまとめた結果として、健康の増進という市民共通の目的が挙がっていますが、健康に対するイメージは人によって異なるということで、国の基本方針を基に計画していく難しさも少し感じております。結果的にややインパクトに欠けているような印象を受ける部分もあるかもしれませんが、この計画が市民全体の健康増進につながっていくように、本日はよろしくご検討をお願いしたいと思います。また、本日は計画内容の他に、この計画の名称や理念についての議論も合わせてお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>ここからの議事進行は、議長である竹本会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>では、(仮称)川西市保健医療計画(案)についての議事を始めます。本日の議事は概ね1時間半弱を目安として考えておりますので、ご協力をお願いいたします。今回も前回と同じように、みなさまからのご意見を適宜賜りたいと思っております。ご協力をお願い申し上げます。座ったままでのご発言ということにさせていただきます。では、事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>

事務局	《川西市健康づくり計画（素案）1章・2章について説明》
会長	ありがとうございました。まず、最初に名称素案を「川西市健康づくり計画」とするか、「推進」という言葉を入れるか入れないか、「基本」という言葉を入れるか入れないか、ご意見をお願いします。特にないようでしたら、事務局の腹案などはございますか。
事務局	計画の名称について、事務局案として検討させていただきました。その中で、「川西市健康づくり計画」とか「川西市健康づくり推進計画」「川西市健康サポートプラン」「川西市すこやか計画」「川西まるごとすこやか計画」「川西市いきいき計画」などを名称案として考えました。
会長	みなさまのご意見はいかがですか。医師会としてはいかがですか。
委員	市民の方が覚えやすい名称であれば、どんな名前でもよいと思います。
会長	簡単な名称ということですね。では、市民目線からのご意見をいただくということで、いかがですか。
委員	私どもは健康づくり推進という言葉をよく使いますので、「推進」という言葉を入れたほうがよいかと思いますが、例えば「いきいき計画」というような、もっと簡単で分かりやすいものにしても構わないと思います。
会長	「サポート」「すこやか」「まるごとすこやか」「いきいき」などありましたが。
委員	「推進」という言葉はいろいろなところで使われていますので、ここでは使わないという選択もあるかと思います。
委員	何もかもが「推進」となっていますので、混同する可能性もあります。シンプルな名称のほうがよいと思います。
会長	他にご意見はございませんか。
委員	素案の「川西市健康づくり計画」が一番よいのではないかと思います。一番わかりやすいと感じました。
会長	6つほどの案が出ていますが、あまり難しく考える必要はないと思いますので、「川西市健康づくり計画」に決めてよろしいでしょうか。 (異議なし)
	では、名称は素案の「川西市健康づくり計画」といたします。
委員	「づくり」はひらがなで表しますか。
会長	はい。 では次に、計画の基本理念についてご検討いただきたいと思いますが、事務局からいくつかの案がでていきますので、これらについてご意見をいただきたいと思います。
委員	前回の協議会でいただいた資料の新たな計画の基本理念案で「だれもがすこやかに心豊かに暮らせる健康創造都市川西市」とありますが、「健康創造都市」という言葉は響きがよいと感じていました。今回は入っていませんが、削除した理由はありますか。
事務局	これは旧計画の名称で、それをそのまま継承するというのであれば、そのままでも構いません。「健康創造都市」という前回の計画の名称を、あえて使わないという前提でご紹介をしているとご理解ください。
会長	横文字は削除いたしましょうか。基本的には健康というものに関して、コミュニティや地域のつながりは実際にはできていない部分もありますので、それを意識するような都市であればよいと思います。

委員	下のところに、第5次総合計画案がありますが、第4次との大きな違いは、地方分権が進んでいく中で地域としてとらえていくということです。「地域で支える」という言葉が入っていますが、これは入れたほうがよいと思います。
会長	と ということですね。
委員	「地域で支える健康まちづくり」を「地域で支える健康創造都市川西市」としてもよいかと思えます。
事務局	後ろに「川西市」という言葉がついていないものに関しては付けていただくこともできます。
委員	公助以外にも、新しい公共ということで、自助と共助の必要性が今まで以上に増してきます。川西市は参画と協働のまちづくりを推進しているということで「共に」という言葉は入れたほうがよいかと思えます。
委員	地域で支えていくということで、 がよいと思います。
委員	か というご意見がありましたが、それでよいと思います。
委員	理念ですので、地域の方が口ずさむことができるものがよいと思います。全て入れると長すぎて口ずさめないものになってしまい、よくないようにも思えます。「共に」も「地域」も入れたいですし、「健康創造都市」という言葉も斬新ですが。
会長	理念ですので、文章的に長くなっても構わないと思います。
委員	を修正して、「共に生き、地域でささえる健康づくり」はいかがですか。「身体と心の」という部分を削除する理由は、健康づくりの中に身体も心も含まれるのではないかということです。
会長	文章的に短くするということですね。
委員	できるだけ短いものがよいので、「地域で支える健康まちづくり」がよいと思います。
委員	健康づくりということですが、逆に健康ならどんなまちになるかと想像すると、そこに理念が生まれてくると思います。川西市で健康づくりを計画し、健康な方が増えたら、どのようなまちになるのかを想像すると、違った発想が浮かぶのではないのでしょうか。もう少し夢や希望があって楽しい雰囲気です。「緑と川の健康あふれる川西」というような感じの理念はいかがでしょうか。
会長	以前、「いきいきプラン」という名称のものがありませんでした。ただ今のご意見を取り入れるのなら「共に生き地域で支えるいきいき健康づくり」というような形になりますが。
委員	みなさんが健康で幸せに暮らしている状況というものをイメージしたときに、どのような言葉がふさわしいかということだと思います。それは個人差があると思いますが、私は「緑」や「川」「まち」「公園」などの言葉を思い浮かべます。そのように絞っていくと、理念が生まれてくるように思います。斬新な理念でもよいのではないのでしょうか。本来は、そういう状況を目指して努力するということだと思います。
会長	計画の基本理念は、今日決めていかなければいけませんか。
委員	基本理念については、事務局でもたくさんの案が出てまとまらなかった部分ですが、みなさまから様々な角度からのご意見をいただきました。もう一度、今月の末に推進協議会を開きたいと考えておりますので、本日のご意見を持ち帰りそれまでに検討させていただきます。次回にみなさんの案を持ってきていただいても結構です。
会長	では、計画の理念については次回またみなさんのご意見をいただき審議するということにいたします。

委員	<p>9ページの当たりについて質問があります。全国的にがんで亡くなる方が多いという傾向がありますが、15ページ(3)に健診の状況の胃がん検診と子宮がん検診と乳がん検診の受診率が悪いということが説明されています。がんの県立健康生活科学研究所の公的な資料によりますと、伊丹市で平成22年度に悪性腫瘍で亡くなられた方が79人です。川西市は64人です。健診率だけを上げればよいということではないのではないのでしょうか。川西市は男女ともにトップ5に上がる長寿で、健康で長生きなのに、胃がん検診の受診率が低いのもっと上げていこうというのはいかがでしょうか。</p> <p>先ほどのデータで、市町村別SMRという数字が出ていますが、これは県の全体を100として、100以下であればがんの死亡率が低い、100以上であれば高いという指標です。川西市では平成18年から22年で、胃がんは男性92.7、女性95.4です。兵庫県下は104です。胃がんに関する死因別統計でいくと近隣と比べても低いということが言えます。そういう現状を市民の方にも認識していただきたいと思います。統計にはいろいろな手法がありますので、1つだけを見て、国の方針を鵜呑みにするのは若干問題があるかと思えます。</p> <p>また、川西市において100を越えていて、問題があるものは肝臓がん、乳がん、子宮がん、がんではありませんが急性心筋梗塞です。これらには力を入れていかなければいけません。兵庫県下で先駆けて前立腺がん検診を取り入れて10年近くなりますが、前立腺がんは90.1ということで、それなりの効果があったのではないかと判断できます。以上のことを踏まえて、がん検診について検討していただきたいと思います。胃がん検診に関しては、受診率が低いので上げなければいけないという単純なものではなく、例えば検診で胃カメラをされている医療機関も結構多いという現状もあり、川西市の医療費が若干高いというご指摘も先ほどありました。健康寿命や死因を踏まえて、総合的に検討していただきたいということです。受診率を上げるために、例えばクーポンをつくって配ればよいというような単純なものではないということをご理解いただきたいと思います。先ほどの伊丹保健所からいただいたデータが必要であれば、利用してください。</p>
会長	これについてご質問等はございませんか。
事務局	<p>ご指摘を受けた15ページの資料については、私どもも統計上困っている部分です。特に胃がん検診については、レントゲン検査だけの受診者数の推移です。今、内視鏡検査に移行しているところもありますので、内視鏡検査をした場合も含めたアンケート調査での川西市の値は、男性の全国平均34.3に対し39.7、女性の全国平均26.3に対し30.7と高くなっています。これについては、内視鏡検査をした場合も含まれていますし、職場で受けられた検診も含まれています。市で行っているものは国民健康保険加入者や一定年齢層という条件が限定されます。川西市では全国平均よりも高い値だということで、先ほどのご意見にも関係しているかと思えます。これは市の保健センターで実施している胃がん検診の数字だけですので、そのようにご理解ください。</p>
委員	無料クーポンがあるということは、受診のきっかけの1つになると思います。そういう意味では、意味がないことはなく、十分に機能しているということは理解していただきたいと思います。
会長	他にご意見がないようでしたら、次に進みます。事務局から第3章の説明をお願いします。
事務局	《川西市健康づくり計画(素案)第3章以後について事務局説明》
会長	ありがとうございました。それぞれの関係部署について、ご意見ご質問等はございませんか。
委員	36ページで、「歯の病気、歯周病」と書いていますが、ここは限定せず「口腔の病気」とした方がよいと思います。口腔全体の病気としてとらえてほしいということです。文言を変えることはできますか。
事務局	検討いたします。
会長	「歯の病気」を「口腔の病気」に変えるということですね。

委員	ここでは他のものは「呼吸器系」「循環器系」という表現ですので、表現を揃える方向で検討をお願いします。
会長	保健センターや自治体との関わりもあるかと思いますが、よろしくをお願いします。他にご意見等はございませんか。
委員	アルコールに関してですが、アルコールをたくさん飲むと食道がんの発生率が高くなるとか、膵臓病になりやすいというような、飲酒に関係した病気には触れなくてもよろしいですか。
会長	ご検討いただき、ご指摘の部分に関して何らかの形で文言を修正していただく形にさせていただきます。
委員	アルコールに関してはアルコール中毒についてだけしか書かれていませんので、他にも加えたほうがよいかと思いました。絶対に入れる必要があるというわけではありませんが、ご検討をお願いします。
会長	専門的な話になり、ご意見を賜ることが難しいかもしれませんが、何か気づきの点はございませんか。
委員	先ほどの認知症に関しても足していただけるということですので、特にありません。
会長	学校関係で何かございませんか。
委員	特にはありませんが、説明をお聞きしていて、施策推進にかかる市民の主体的な取り組みというものにつながるということを、もう少し色濃く書いてはいかがでしょうか。「市民の主体的な取り組みのためこのようなことをします」というような表現にするということです。行政計画的なものが挙げられていますが、ここは理念とも関係しますので、よろしくをお願いします。
委員	たばこに関してですが、主な推進方策の最初に「喫煙教育や相談業務の充実に努める」と書いてありますが、ルールが守れず、マナーの悪い方はわざわざこのような場に相談をしに来ないと思います。具体的にどのように充実を図ろうとお考えですか。
会長	自分個人の健康とまわりの人の健康に関わることなので、特に受動喫煙に対しては共有すべき取り組みだと思えます。自己責任だけでは済まない状況だということは科学的にも証明されていますので、必要な取り組みではないでしょうか。
委員	質問があります。ここには具体的にアルコールやたばこに関する内容が入っていますが、薬物の問題は入れていなくてもよいのですか。
会長	52ページの思春期保健対策の学校保健教育のところでは進められているという記載がありますが。
委員	アルコールやたばこと同じような大きな項目として挙げる必要はないということですか。
会長	基本的に薬物に関しては犯罪に関わってくるものですから、ないものだとして考えていくべきかと考えています。
委員	私も薬物に関してはどうなのかと思っていました。薬物に関する運動をしているところがあって、川西の中学校に対しても薬物乱用の講演をしていますがお聞きしたところ、中学生でも薬物を使っている人が多いということです。本当に薬物に関しては不要なのか懸念していました。
委員	53ページに、アルコール・たばこ・薬物対策の強化があって、薬物乱用防止教育が出ていますが。

会長	アルコールやたばこも同じですが、最初は興味半分で入っていくので、その最初のところでどこまで教育ができていくということが重要になります。教育は大事で、いろいろな機会をとらえてやっていくということが大切だと思います。
委員	表現方法についてですが、行政としては仕方のないことかと思いますが、先ほど主体的な運動を歓迎するようなご意見もありましたので、1点だけ申し上げます。27ページの身体活動、運動のところで、より積極的な啓発活動をしたほうがよいのではないかと思います。市民に対して運動不足を自覚させるような表現があってもよいということです。私はスポーツクラブのインストラクターをしていましたので、運動に関しては特別な思いがあります。運動を始めるきっかけというものは、体型の維持や体重の減量であったりしますが、運動は健康的な生活を送っていくために必要不可欠なものであるということ、行政から市民に対して伝えしていく機会があってもよいのではないのでしょうか。表現が弱いように思いますが、いかがでしょうか。
会長	そのような視点があつての表現ではないと思いますが、いかがですか。
事務局	スポーツするだけが健康につながるわけではありませんが、運動に関しては確かにご指摘があった通りだと思います。つまり、体を動かさないことが将来の自分の健康被害につながるということを指摘しておくべきだと思いますので、ご意見を参考にさせていただき、投げかけるような書き方をさせていただきたいと思います。
会長	他にご意見はございませんか。
事務局	59ページあたりで、難しい言葉で言えば「地域連携クリティカルパス」という考え方があります。在宅で生活するということが基本ですので、大きな急性期病院を退院した後に在宅に戻れる医療機関の整備が求められているということ、また、そのようなことに市民も理解を示していかないといけないのだということです。医療連携体制に基づく地域完結型医療の具体的実現という考え方を厚生労働省が出していますが、要するに、どのような病気になっても地域で安心してやっていけるということかと思いますが、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の推進という形で総合的に判断する仕組みになるかと思いますが、その部分についても表記したほうがよいのではないかとご指摘を受けています。
会長	現実的に超高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者が増えたときに現状の急性期病院だけでは対処できないことは目に見えています。できるだけ在宅で、ということで、病院と在宅医療で連携をとって、地域で患者を診ていくという形をとらざるをえないということです。そのような診療方針が出ていますし、その現実を地域の医療の中で受け入れ、どのように組み込んでいくかということを考えれば、先ほどの保健所長のご意見にあったようなことが必要だと思います。この施策の中でも十分に踏み込んでいかなければいけないかと思いますが、次回には、そのようなことも埋めていただきたいと思います。
事務局	55ページ、56ページの見開き部分をご覧ください。整理中というところに関しては、第3章で記載した事業を落とし込んでいきたいと考えております。市で実施している年齢毎で受けられるサービスを一覧表にして、ここに掲載する予定です。最終的には、この部分も充実させた上で、市民に広くお渡しできるパンフレットを作成し、市の健康づくり施策のPRに努めたいということです。
会長	ありがとうございました。本日予定していた審議はこれで終わりたいと思います。今日の審議に関して、ご意見等ございましたらお願いします。ないようでしたら、事務局から
事務局	本日は熱心なご協議をいただきまして、誠にありがとうございました。ご協議をいただきました内容中で、計画名については「川西市健康づくり計画」に決定させていただき、進めさせていただきます。他にも基本理念に関することなど、本日いただきましたご意見は、今後、事務局で検討させていただきます。次回にご報告させていただきたいと思っております。本日お配りした意見シートですが、できれば来週中にご提出ください。今日の協議に関することでも、その後に思いつかれたことでも結構です。特に理念に関しては、よいフレーズがあれば出していただきたいと思います。ご協力よろしくお願いたします。今後の予定に関しては、2週間後の11月29日木曜日に、第3回の開催を予定しております。そこでもご意見をいただき、必要な修正を行い、委員会で説明する素案としてま

会長	<p>とめさせていただきます。12月に市議会で説明を行うと共にパブリックコメントにより、広く市民からのご意見をいただくという流れになります。</p> <p>では、これをもちまして第2回川西市健康づくり推進協議会を閉会いたします。長時間のご審議、ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>
----	--